カリキュラム

コースコード：24-149

タイトル	ヒューマンエラー・ポカミス対策講座		
サブタイトル	不良・手直し、事故を未然に防ぐ仕組みづくり		
研修のねらい	ヒューマンエラーやポカミスは、製品・サービスの品質低下や手戻りを発生させ、生産性低下を招くだけでなく、時には重大な事故に繋がることもあります。安全で高効率な職場環境を整えるためには、ヒューマンエラーを抑制する仕組みづくりが必要不可欠です。 本研修では、ヒューマンエラーやポカミスが発生する要因を理解し、その対策と生産性向上を両立する方法を学びます。また、実際に自社の課題を抽出し、職場を改善するためのアクションプランを検討します。		
研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・組織全体でヒューマンエラー対策に取り組む方法を学びます。 ・ポカミスを防ぎながら効率を上げる作業の改善方法を学びます。 ・自社のヒューマンエラー・ポカミス対策のアクションプランを検討します。 		
対象者	経営幹部、管理者（製造業） ・ヒューマンエラーの発生にお悩みの方 ・ヒューマンエラー対策を検討している方	定員	20名
		研修期間/時間数	2025年2月18日(火)～20日(木)
			3日
		会場	中小企業大学校瀬戸校 大教室
受講料	32,000円		

科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
2/18 (火)	9時20分～9時40分	開講式・オリエンテーション		合同会社サカタ経営 代表社員 坂田 卓也
	9時40分～12時10分 (2.5H)	ヒューマンエラーの要因と会社に及ぼす影響	ヒューマンエラーの発生要因を理解した上で、ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響を確認します。 ・ヒューマンエラーとは ・ヒューマンエラーを引き起こす4つの要因（人的要因、作業的要因、設備・システムの不備、管理面での不備） ・ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響	
	13時10分～17時40分 (4.5H)	組織で取り組むヒューマンエラー対策	人的要因から発生するヒューマンエラーの原因を追求し、ヒューマンエラーを発生させない組織風土の構築を考えます。 ・ヒューマンエラーが起こる人的要因 ・ヒューマンエラーをなくす組織行動 ・自社の組織活動の現状を明らかにする【演習】 ・ヒューマンエラーをなくす組織活動を考える【演習】	
	18時10分～19時10分	受講者交流会		
2/19 (水)	9時00分～12時00分 13時00分～14時00分 (4.0H)	ポカミスの発生原因を学ぶ	作業的要因から発生するヒューマンエラー（いわゆるポカミス）がなぜ発生するのか、また、ポカミスが会社に与える影響を考えます。 ・なぜポカミスは発生するのか？ ・ポカミスが与える影響 ・ポカミスが発生しやすいシチュエーションを学ぶ ・ポカミスの事例研究	合同会社サカタ経営 代表社員 坂田 卓也
	14時00分～17時30分 (3.5H)	作業を改善して効率を上げながらポカミスを防ぐ	ポカミスの発生状況を理解した上で、作業面での対策を考えます。また、ポカミス対策が生産性の向上につながることを学びます。 ・ムダ、ムリ、ムラの違い ・ムダ取りと生産性向上【演習】 ・生産性向上とポカミス削減の両立 ・自社が行うポカミス対策の相互紹介【演習】	
2/20 (木)	9時00分～12時30分 (3.5H)	その他のヒューマンエラー＆ポカミス対策	人的要因、作業的要因以外のヒューマンエラー対策を学びます。 ・設備・システム的な対策【事例、演習】 ・管理的な要因対策	合同会社サカタ経営 代表社員 坂田 卓也
	13時30分～16時30分 (3.0H)	自社のヒューマンエラー＆ポカミス対策の検討【演習】	研修での学びを踏まえて、自社のヒューマンエラー対策を検討します。 ・職場の問題点の洗い出し ・自社での課題の抽出 ・ヒューマンエラー＆ポカミス対策のアクションプラン作成	
	16時40分～16時50分	閉講式		

講師氏名

略歴

坂田 卓也
(さかた たくや)
合同会社サカタ経営
代表社員

大日本印刷株式会社の生産総合研究所やエリーパワー株式会社の生産技術部を経て、経営コンサルタントとして独立し、現在の合同会社サカタ経営を設立。経営工学（IE）を活用した生産性の改善、品質管理（QC）や品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化などの支援を行っている。支援実績は印刷関連、金属加工、食品加工、繊維と多岐にわたる業界の実績がある。中小企業診断士、技術士（機械部門）、エネルギー管理士（熱部門）、第3種電気主任技術者等を保有。